



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2016~2017 年度主題

International President :Joan Wilson (カナダ)
 "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日より始まる」
 Asia Area President :Tung Ming Hsian (台湾)
 "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
 北東部部長 長岡正彦 (もりおか) 「明日のために、いま土台を築こう」
 会津クラブ会長 青山孝男 「明日を楽しく、共に歩もう！」

<No.266 会津通信>
 2017 年 6 月 17 日発行

会 長 青山孝男
 副会長 高橋眞美
 書 記 高橋真人
 会 計 高橋真人

◇6 月の聖句 ◇

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満され、霊が語るままに、ほかの国々の言葉で話した。」

使徒言行録 2 章 1 - 4

6 月例会プログラム

司会；高橋 真人

1. 開 会 点 鐘 青山孝男会長
2. ワイズソング 一 同
3. 会長あいさつ 青山孝男会長
4. 連 絡・報 告 青山孝男会長
5. 聖句朗読 高橋 カノ
6. 食前感謝 高橋 カノ
7. 会 食
8. 懇 談 「一年を振り返る」
9. Happy Birthday! Happy Anniversary!

あかべこ

10. 閉 会 点 鐘 青山孝男会長

「東日本区大会」に参加して

会長 青山孝男



大会プログラムで北東部長報告が、各クラブ活動を報告するのだがトラブル発生！？ 活動紹介されるはずだった会津クラブは次の内容でした。

◇続・笑顔が見たくて！

2010 年6月に設立したユニークダンスサークル「つばさ」は今年で7年目を迎えます。会津クラブが生み出した唯一のサークルです。毎月の例会と施設訪問やサークル内の親睦を兼ねた活動を継続していますが、新メンバー確保のため「リーフレット」を作成中です。障がいを持つメンバーの体力や高齢化に歯止めという事を考慮してのことです。

◇少年の心と体の育成に関わって

「少年の主張会津若松市大会」は毎年8月に開催され、若松市内の小中学生が、日頃の考え、感じていることや社会に対する提言などを発表しています。当クラブも共催となり審査しています。(次回も青山会長)

<5 月例会出席状況>

在 籍 者 5 名 ゲスト 0 名

出 席 者 5 名

*出席率 100%

あ か べ こ 0 円

16-17 年度合計 39,000 円

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

会津クラブ例会

＜ゲストスピーチ＞

小さな女の子の物語 前号より

会津中央乳業(株)
代表取締役社長の
二瓶孝也氏



あれから 50 年余り。
山あり谷ありの孝
也の仕事がいつも
そばで静かに見守
り続けていた「あの子」。

よもやの東日本大震災で、会津地方の乳業も生産停
止、販売自粛、さらには風評被害と予想もしない試練



に見舞われたときもそうでした。「牛
乳を必要としている被災者のために
も、とにかく操業を続けたい」「立ち
上がろうとしている酪農家を支えたい」と悪戦苦闘する孝也と社員を愛
くるしい表情で励まし続けたのが「あ
の子」でした。

いつも手の届くところにいて、みん
なを見守り続ける「あの子」。

「どの子も健康で幸せに育ててほしい」という願いが込
められている「あの子」。どの子も大きくなって天まで届
いてほしいから会津中央乳業は、

「あの子」に名前はつけません。それぞれのおうちの
お子さんの名前が一番ふさわしいと思っています。
終了後、高橋真美ウィメンが会津中央乳業製品を使っ
てのフルーツポンチを作り、食しながら質問も多く、懐
かしく拝聴できたとの感想がありました。普段何気なく
買っていたのに、親しみを覚えました。(おわり)

東日本区より

理事メッセージ

いよいよ理事通信最終号となりました。1年間お
読み頂きありがとうございました。

さて、私の理事の任期も残すところ 20 日となりま
した。「明日に向かって、今日動こう」を主題とし
て、とにかく区の活性化には行動のみとう気持ちで
1 年間できる限りの会議行事に出席し、できるだけ
多くのメンバー、メネット、その他関係者と直接お
話をする機会を作る努力をしてみたいです。会員

増強には大きくはつながりませんでしたが、各部長
のリーダーシップの向上、YMCA との協働の強化に
は貢献できたのではないかと感じております。

(中略)

振り返ると長いようで短い 1 年でした。各事業主任、
各委員会委員長および委員のみなさま、専任委員
のみなさま、監事、各部部长、各クラブ会長のみな
さま、多大なご支援をいただき誠にありがとうございました。2016-2017 年度をみなさまが特別な年と
して覚えていてくださることを願います。

会津の先人たち (会津若松市 HP より)

女性の自立を求めた文学者

若松 賤子わかまつ しずこ

神のしもべ

賤子は、教師のかたわら文学会をつくり執筆活動
を始めます。幼くして身寄りを無くし、思春期に宣
教師の教育を受けた賤子は、13 歳で洗礼を受けて
いました。ペンネームの「若松」は故郷にちなみ、
「賤子」は神のしもべという意味でした。22 歳
のとき、巖本善治が主宰する「女学雑誌」への寄稿が
きっかけとなり、二人は教会で結婚しました。

易(やさ)しく美しいことば

退職した賤子は、夫が主宰する明治女学校で教べ
んを取りながら、次々と創作や翻訳を発表しました。
中でも、アメリカの女流文学作品の翻訳「小公子」
は、45 回の連載で高い評価を得ました。当時は、
そうろう文に代表される難解な表現でしたが、賤子
の日常の会話を用いた易しく美しい日本文体は、樋
口一様をはじめ、新しい表現を模索していた日本の
文壇に多大な影響を与えました。また、日本文化を
英文で海外に紹介し、国際的な相互理解にも努めて
います。明治 29 年女学校が失火で焼け落ち、結核
を患っていた賤子は焼け出され、5 日後に無くなり
ました。32 歳という若さでした。

次号は

近代看護教育の普及に尽力

山川 捨松(やまかわ すてまつ)(1860~1919)

◆ 今後の予定 ◆

- ◇ 7月例会 7月12日
「キックオフ」
- ◇ ユニークダンス7月例会

7月 26日 午後 7時～
場所：アガッセ

